

第 26 回（2024 年度）
神奈川看護学会 開催要項



公益社団法人神奈川県看護協会

目 的

実践に根ざした看護研究への支援を行い、県内の看護職員の相互啓発の場を提供し、看護の質向上を図り、県民の健康の保持・増進に貢献する。

1. 開催概要

テ ー マ：多様性と協働が紡ぐ未来の看護職

日 時：2024年11月30日（土） 10：00～16：00（予定）

場 所：パシフィコ横浜アネックスホール

主な内容：一般演題発表（口演・示説）

講演会

シンポジウム

ランチョンセミナー

看護研究支援コーナー

スペシャリストによる活動紹介

神奈川県看護協会からの情報発信

企業展示（看護に関連する機器、物品）

2. 参加資格

神奈川県看護協会会員、非会員（他職種含む）

学生（看護師の免許を未取得の看護学生）

3. 参加申込方法・参加費

1) 参加申込方法

(1) 事前申込 (会員・非会員)	(2) 事前申込 (学生)	(3) 当日申込 (会員・非会員・学生)
研修申込サイト	メール	当日会場にて

(1) 事前申込：

神奈川県看護協会のホームページ（トップページ > クイックリンク > 神奈川看護学会 > 参加申込はこちら）からの「個人申込」となります。

* 申込みの際には『神奈川県看護協会研修申込サイト』（以下、『研修申込サイト』という。）へのユーザー登録が必要です。

* 参加費の納入をもって申込み完了となります。納入方法は p.2、3) 納入方法をご参照ください。

申込期間：2024年8月1日（木）～ 10月31日（木）

(2) 学生の事前申込：

メールでのお申込みとなります。

申込先アドレス：kensyu@kana-kango.or.jp

件 名：第 26 回神奈川看護学会参加申込

記 載 事 項：①氏名 ②フリガナ ③学校名 ④学年 ⑤住所（集録送付先） ⑥電話番号

申込期間：2024年8月1日（木）～ 10月31日（木）

* 参加費の納入をもって申込み完了となります。納入方法は p.2、3) 納入方法をご参照ください。

* 学生の参加は人数に限りがあります。学校で取りまとめて申し込まれる場合は、申込み前に事務局へご連絡ください。（TEL：045-263-2926）

(3) 当日申込：

開催当日、直接会場で受け付けます。

* 受付の際、神奈川県看護協会の会員は「会員証」、学生は「学生証」を提示してください。

* 状況により、事前参加申込のみとなる場合があります。

2) 参加費

(1) 参加費：

	会 員	非会員	学 生
事前申込	4,000 円	6,000 円	2,000 円
当日申込	5,000 円	7,000 円	3,000 円

* 会員とは、申込時に当該年度の神奈川県看護協会員の入会手続きが完了し、なおかつ『研修申込サイト』に『会員』と表示されている方をさします。(会員情報が『研修申込サイト』へ反映されるには、最長で2～3週間ほどかかります)

3) 納入方法

(1)事前申込(会員・非会員)	(2)事前申込(学生)	(3)当日申込(会員・非会員・学生)
研修申込サイト クレジット決済・コンビニ決済・ 銀行振込より選択	銀行振込	会場にて現金のみ

(1) 事前申込の場合：

『研修申込サイト』にログインして『自分の研修』より申込結果が「承認」となっていることを確認し、支払い画面にお進みください。

納入方法はクレジット決済、コンビニ決済、銀行振込より選択ができます。

納入期日：2024年11月10日(日) 23:59

*一度、納入いただいた参加費は返金できません

(2) 学生の事前申込の場合：銀行振込となります。

振込先：横浜銀行 県庁支店 普通 1 1 9 2 0 3 3

公益社団法人神奈川県看護協会 会長 長野広敬

納入期日：2024年11月10日(日)

*一度、納入いただいた参加費は返金できません。

(3) 当日申込の場合：現金払いのみとなります。

4. 注意事項

*集録は申込時に登録した住所の本人宛に11月中旬頃に送付します。開催1週間前までに届かない場合は、事務局へご連絡ください。なお、開催当日の申出には対応いたしかねます。

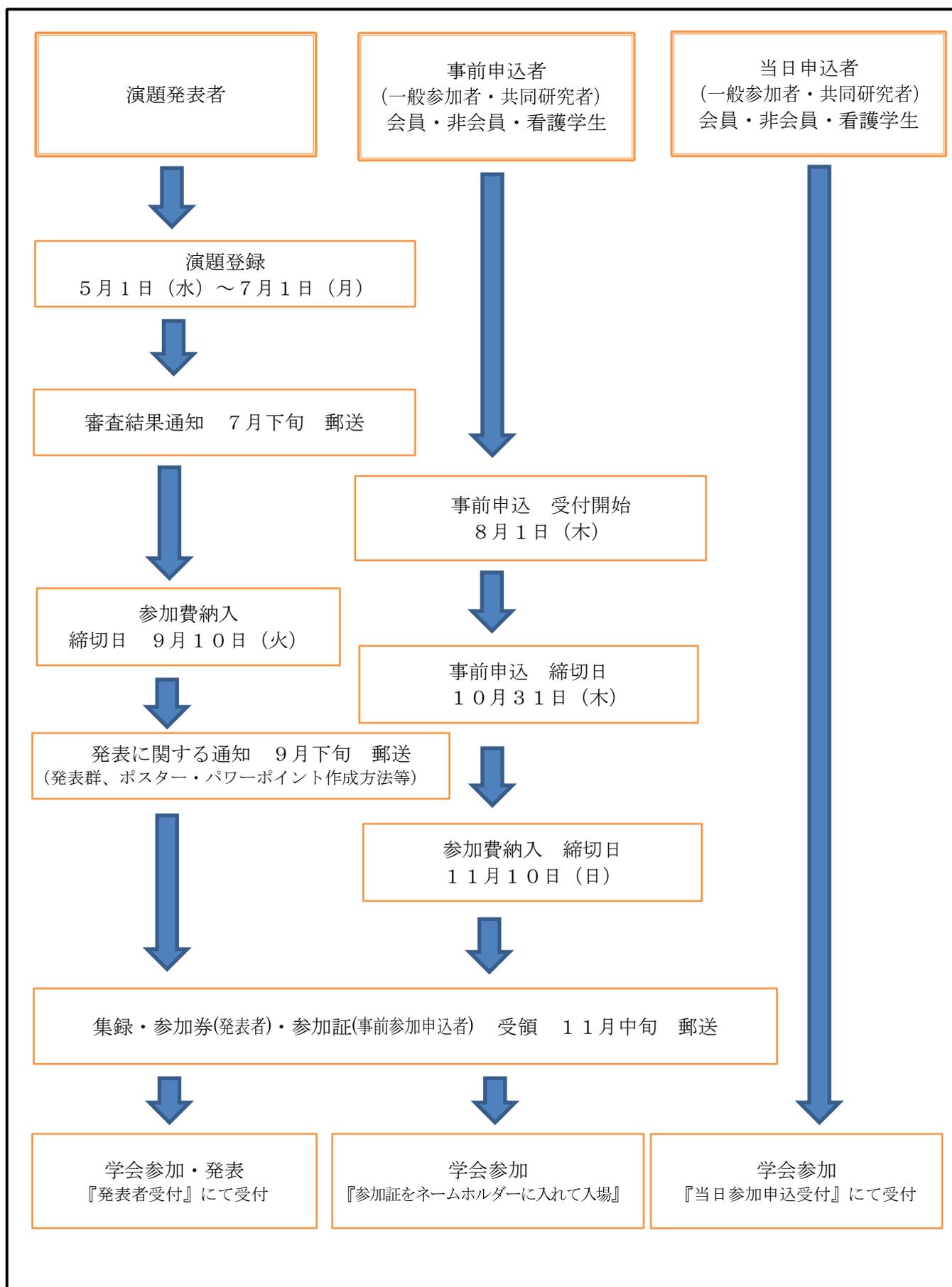
*状況により、開催内容の変更や中止する場合があります。その際はホームページに掲載します。

5. その他

*集録のみの取りまとめ購入を希望される場合は、8月末までにメールにてお申込みください。

申込先アドレス：kensyu@kana-kango.or.jp

学会参加までのスケジュール



演題登録について

1. 演題の登録

1) 演題登録条件

(1) 演題原稿

演題原稿による登録となります。

登録する原稿は倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記され、なおかつ所属施設外（他学会・雑誌その他の出版物等）で未発表のものに限ります。

*演題登録原稿は「看護研究における倫理的配慮について」(p. 6-8)を熟読したうえで、「演題登録原稿作成方法」(p. 9-10)のとおり作成してください。

(2) 登録者（＝発表者）

神奈川県看護協会員（学生を除く）

*会員とは、演題登録の時点で当該年度の神奈川県看護協会員の入会手続きが完了し、なおかつ『研修申込サイト』に『会員』と表示されている方をさします。（会員情報が『研修申込サイト』へ反映されるには、最長で2～3週間ほどかかります）

(3) 共同研究者

神奈川県看護協会員もしくは日本看護協会員（看護職以外および学生はこの限りではない）

*共同研究を行った方は、共同研究者として演題登録原稿に記名できます。

2) 演題登録方法

神奈川県看護協会ホームページ（トップページ>クイックリンク>神奈川県看護学会>演題登録はこちら）からの登録となります。

*演題登録の際には『研修申込サイト』へのユーザー登録が必要です。

*演題登録の際は、以下①②をPDFに変換してアップロードしてください。

①演題原稿

②演題登録確認リスト <様式A>

*『集録原稿作成フォーム』『演題登録確認リスト』は神奈川県看護協会ホームページ（トップページ>クイックリンク>各種様式ダウンロード>神奈川県看護学会）よりダウンロードできます。

3) 演題登録期間

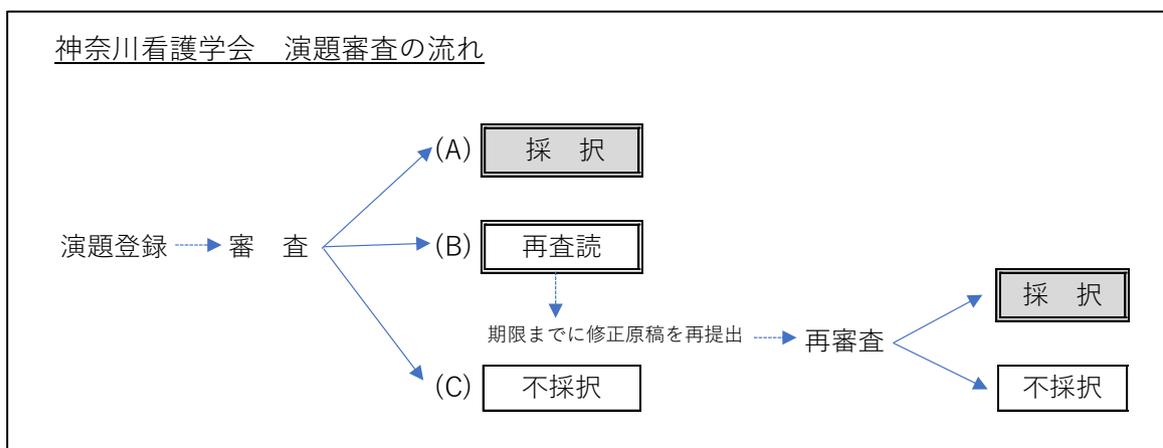
2024年5月1日（水）～7月1日（月）

2. 演題の審査

1) 審査は、神奈川県看護学会 査読委員が行います。

2) 審査結果と発表形式は、研究発表者に7月下旬に文書で通知します。

*発表形式はご希望に添えない場合があります。



3) 審査の結果、修正を求められた場合は指定期日までに再提出してください。

*審査の結果、「再査読」となった演題を対象に、相談支援を行います。（希望者）

詳細は、審査結果に同封する案内文書『神奈川県看護学会看護研究相談支援について』をご覧ください。

4) 発表群、ポスター・パワーポイント作成方法等は9月下旬に文書にてお知らせします。

3. 演題の発表

- 1) 口演発表：発表時間は1人7分です。パワーポイントを用いて、スライド10枚程度にまとめてください。スライドは静止画面のみ可です。(文字を動かすなどアニメーションや動画は禁止)
- 2) 示説(ポスター)発表：ポスターを掲示し、発表(1人7分)と質疑応答を行います。

4. 参加費の納入

審査・再審査結果が採択となった方は、『研修申込サイト』にログインして『自分の研修』より支払い画面にお進みください。

納入方法はクレジット決済、コンビニ決済、銀行振込より選択ができます。

納入期日：2024年9月10日(火)

*一度、納入いただいた参加費は返金できません。

5. 神奈川看護学会看護研究奨励賞の授与

神奈川看護学会では、優れた発表に対して看護研究を奨励・支援することにより、看護の質の充実・向上を図ることを目的として「看護研究奨励賞」を、また特に優れた発表に対して「看護研究特別奨励賞」を授与いたします。受賞者には、後日、授与式にて賞状と奨励金を贈呈します。

看護研究における倫理的配慮について

1. 看護研究のための倫理指針

看護研究プロセスの各段階、および集録原稿作成・研究発表の際には倫理的配慮が求められます。研究に取り組むにあたっては、「看護研究のための倫理指針」（日本看護協会ホームページ）に必ず目を通してください。また、研究論文の記載や発表の際には下記内容を熟読し、倫理的配慮への厳守をお願いいたします。

2. 研究における倫理的配慮とその記述・発表方法

第 51 回 日本看護学会実施要綱より抜粋

1) 先行文献を調べて活用していますか？

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返し研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」、「考察」で適切に引用しましょう。「日本看護協会ホームページ>キャリアナース」には文献データベース「最新看護索引 Web」があり、『日本看護学会論文集』の全文 PDF も公開されています。ぜひ活用してください。

2) 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか？

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞（当院・当病棟も含む）・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。
※倫理審査委員会名の表記に関しては実名表記としてください。詳細は5)「倫理審査委員会での承認を受けたことを記載していますか？」の項目を参照してください。

3) 研究対象者の個人情報を守っていますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護研究における倫理指針」（日本看護協会）、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」（個人情報保護委員会・厚生労働省）、「看護者の倫理綱領」（日本看護協会）、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）^{*注1} および所属施設の規定に従ってください。

*注1：最新は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省、令和5年一部改正）です。

- 期間を記述することで研究対象者が特定される可能性がある場合の記載例：
「20XX年～20XX+1年」「入院期間中の30日間」、「発症から20日間」等
- 研究フィールドの特化した状況（地域性、規模、役割、領域等）が必要な場合の記載例：
「神奈川県内にある約200床規模の私立病院」「がん診療連携拠点病院である公立総合病院」等
- 事例研究や疾患および術式などの特定の状況が研究対象となる場合の記載例：
病状・術式 「大腿骨頸部骨折を生じた～」「人工肛門を造設した～」「喉頭全摘出術を受けた～」等
年齢 「青年期」「成人期」「壮年期」等
職業 「事務職」「サービス職」「販売職」等
- 研究結果に直接関係しない個人情報は記載しない（性別・家族背景・経過等）

4) 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院患者に対し無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても、自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合は、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理審査委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行う研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得る必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理審査委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能なかぎり研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理審査委員会等での同意が必要となります。

5) 倫理審査委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理審査委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究対象施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要な研究を行う場合には、倫理審査委員会等で承認を受けていることを明記してください。

倫理審査委員会の表記については、承認責任の所在を明確にし、信頼性を高めるために実名で表記をしてください。例：「日本看護協会病院倫理審査委員会」。

ただし、対象者が少なく、倫理審査委員会名を実名で表記することにより個人が特定される場合は『所属施設の倫理審査委員会の承認を得た』と記載してください。

また、所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、『倫理審査委員会相当の機関から承認を得た』ことを記載のうえ、『対象者から自由意思による承諾を得た』こと、『不利益を回避するための配慮を実施した』ことを明記してください。

研究の実施だけでなく、結果の公表（発表）に関しても、研究対象者および研究対象施設の承諾が必要です。

6) 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理審査委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策（中止基準の設定等）、研究データの取扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

○ 研究対象者に説明する際に、

- ① 研究の実施と公表について同意を得ること
- ② 研究対象者が理解できる丁寧な説明と、プライバシーが保護された環境下で同意の場を準備すること。また、研究協力への同意が強制されることなく、自由な判断ができるように必要な備えをすること
- ③ 研究に協力することによって生じる可能性のある不利益やリスクを説明すること
- ④ 自由意思の尊重や研究の中断、問合せなどの相談窓口やその対応を保証すること
- ⑤ ①～④の内容について具体的に記載すること

7) 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典（文献）を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載してください。

8) 利益相反の有無を明記していますか？

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる成果を社会へ還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、利権など）が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、論文等）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

記載例) <利益相反がある場合>本演題発表に関連して、過去1年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究費・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。

<利益相反がない場合>本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

○ 利益相反の記載方法

演題登録（集録）原稿：本文の最後（引用文献の前）に利益相反状態を記載する。

学会での発表媒体：発表媒体（パワーポイント・ポスター）内に利益相反状態を開示する。

演題登録原稿作成方法

1. 原稿構成

項 目	内 容
演題名 (タイトル)	論文の内容が「題名」からイメージできるもの。必要に応じてサブタイトルを付けてもよい。
キーワード	論文の内容を表す重要な語句。この論文が、目的を持って検索しようとする人にわかりやすいようにつける。(3~5個)
はじめに	研究の社会的背景や歴史的経過、研究の意義、動機を明確に記す。先行文献を検討した旨を明記する。
目的	この研究では何を明らかにするのか、どのような効果が期待されるのかを記す。
方法	研究デザイン、研究対象、研究(調査)期間、データ収集方法、データ分析方法等を記す。
倫理的配慮	どのような倫理的配慮がなされたか記す。倫理的配慮について (p. 6, 7, 8) 参照
結果	本研究で得られた結果やデータ的事実を明確に整理して記す。必要に応じて、明瞭かつ簡潔な図、表、資料、写真等を用いる。
考察	研究の分析、得られた結果に基づいた解釈、評価、検討を行う。この研究結果から、新たな知見があるか、学問的意義があるか、普遍化できるものがあるか、特殊性のあるものなのか等を論理的に記す。「本研究の限界と今後の課題」についても記載してよい。
結論	研究結果から明らかになったことを簡潔に記す。
*利益相反の明記	*利益相反の有無について本文最後(引用文献の前)に記載する。 (利益相反の有無に関わらず、すべての研究において記載してください)
引用文献 <small>※共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。 ※電子文献は公的機関から提供される情報、電子ジャーナルのみを対象とする。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌掲載論文 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次). 例) 1) ○山▲子：看護の□□について, 看護○○, 9(12), p. 24-26, 2011. ・単行本 著者名：書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次). ・翻訳書 原著者名：書名(版), 発行年, 訳者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次). ・電子文献 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次), アクセス年月日, URL.

2. 書式設定

- 1) 本会のホームページ(トップページ>クイックリンク>各種様式ダウンロード>神奈川看護学会)より書式をダウンロードし原稿を作成してください。演題登録(アップロード)時はPDFへの変換が必要です。
- 2) 原稿枚数は、図表を含み3ページ以内です(ページ数は不要)。
- 3) 原稿は白黒で作成してください(図表・写真含む)。
- 4) 本文は、「～である調」で記述し、下記の設定を厳守してください。
なお、採択された原稿は写真印刷でそのまま学会集録に掲載されます。

[1行の文字数] 1段組み 42文字 2段組み 22文字
 [頁の行数] 45行
 [文字の大きさ(テーマ含む)] 10.5ポイント
 [字体] MS明朝体(全角) 英文、アラビア数字(半角)
 [上部余白] 30mm [下部余白] 25mm [左右余白] 25mm

<演題登録原稿レイアウト>

上部余白 **30mm**

演題名:中央揃え(1行目)
 サブタイトルをつける場合:中央揃え(2行目)
前後に～をつける *ハイフン(-)にしない

使用する全ての文字は
10.5 ポイントにする

左右余白 **25mm**

□□□□□□□□
 ~□□□□□□□□□□□□□□□□~

神奈川県看護協会立□□病院
 ○神奈川県 花子 横浜 太郎

キーワード: □□□ □□□ □□□

I. はじめに

キーワード:研究者名から1行あける
 中央揃えで間を1字あけ、3~5個とする

※1行22文字×**2段組**
 ※2枚目以降は1行22文字×45行×2段組

I.はじめに、II.目的・見出しを記述
 キーワードから1行あける
 符号の順序は、I. 1. 1) (1) ①

II. 目的

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

III. 方法

1. □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
2. □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
3. □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

IV. 倫理的配慮

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

V. 結果

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

下部余白 **25 mm**

VI. 考察

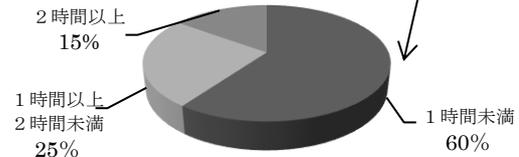
所属施設名は**正式名称**で記入 右揃え(3行目)
 研究者名:発表者は筆頭に記入し、○をつける
 共同研究者で所属施設が異なる場合は、符号 1)2)で示す
 同一施設の研究者名は 2 行以内で表記する

VII. 結論

図表は枠内に掲載、白黒で判別できる
 ものとし、それぞれ通し番号をつける
 ・表番号と表タイトルは、表の上
 ・図番号と図タイトルは、図の下

表1 ●●●●●

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
	△△△△	AAAAAAA
		BBBBBBB
○○○○		CCCCCC
	□□□□	DDDDDDD
		EEEEEEE



利益相反の有無について記載

本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

VIII. 引用文献

引用文献:引用順に番号をつける。
 ※本文の引用箇所の上に¹⁾²⁾と番号をつける
 例) ○○は「……………」¹⁾と述べている。

演題登録確認リスト

*以下の項目に準じていない場合、審査対象外となります。研究者および他者(上司)の複数名で必ず一項目ずつ厳守されていることを確認してください。

確認項目		チェック欄
【演題登録資格について】		
1	演題登録者(発表者)は、現在、神奈川県看護協会の 2024 年度会員ですか	
2	看護職の共同研究者は、現在、神奈川県看護協会もしくは日本看護協会の 2024 年度会員ですか	
【演題登録について】		
3	発表者自身が『研修申込サイト』での演題登録を済ませましたか	
4	所属施設名は略さず、正式名称を登録していますか(例:〇〇法人〇〇会 〇〇〇病院)	
5	演題登録の際に入力した発表者氏名・所属施設名・共同研究者名は原稿の記載と同じですか	
【演題登録原稿について】		
6	演題の内容は他の学会(研究会)での発表や雑誌等での投稿はされていないものですか	
7	原稿は指定の書式で作成していますか(開催要項 P9,10 参照)	
8	原稿は A4 判用紙 3 ページ以内で、文字および図表、写真は白黒設定で作成していますか	
9	原稿の 1 枚目には演題名、所属、研究者名(発表者の前に〇)、キーワードを記載していますか * 部署名は不要です。	
10	はじめに・目的・方法・倫理的配慮・結果・考察・結論・引用文献が記載されていますか	
11	先行文献を調べて活用していますか	
12	符号の順番は開催要項 P.10 のとおり記載されていますか	
13	図表は開催要項 P.10 のとおり記載され、白黒印刷で判別できる明瞭なものになっていますか * 原稿は写真印刷でそのまま学会集録に掲載されます。	
14	誤字・脱字、改行等、文章中に誤りはありませんか	
15	引用文献は開催要項 P.9,10 のとおり記載されていますか	
【倫理的配慮について】		
16	開催要項にある「看護研究における倫理的配慮について」は熟読しましたか(P.6,7,8)	
17	倫理委員会等の倫理審査を受け、承認を受けたことを明記していますか	
18	研究対象者(または代諾者)から研究実施ならびに公表に関する自由意思による承諾が得られたことを明記していますか * 研究実施に際し行った倫理的配慮については記載する必要があります。	
19	研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを明記していますか * 研究実施に際し行った倫理的配慮については記載する必要があります。	
20	「当院」「当病棟」等の記載をしていませんか * 研究フィールドの特定につながるため、記載してはいけません。 * 例「A 病院」「B 病棟」等、匿名化をする必要があります。	
21	氏名、施設名、県名等を実名やイニシャルで記載していませんか * 研究対象者の特定につながるため、記載してはいけません。 * 例「佐藤氏」→×「S 氏」 ○「A 氏」、「神奈川県」→×「K 県」 ○「A 県」	
22	病歴や経過などの日付を特定できる記載にいませんか * 研究対象者の特定につながるため、記載してはいけません。	

23	研究結果に直接関与しない個人情報を記載していませんか * 研究対象者の特定につながるため、記載してはいけません。	
24	データの解釈に必要な研究対象者の情報は最小限にしていますか * 研究対象者の特定につながる情報は匿名化をする必要があります。	
25	他の文献から本文を引用する場合、著作権に配慮し出典を明記していますか * 図表や写真等の転載は原則として認めません。	
26	既存の尺度および商標登録物を使用する場合、著作権者から使用許諾を得たうえで出典を明記していますか * 許諾を受けていない尺度、登録商標物等は使用できません。	
27	薬品や検査器具等は、原則として一般名称を用い、()内に商品名(登録商標の場合は®マーク)を記載していますか * 登録商標物に®マークを付けずに記載してはいけません。	
28	利益相反の有無について申告していますか * 利益相反の有無に関わらず、すべての研究に明記が必要です。 * 本文の最後(引用文献の前)に記載してください。	

公益社団法人神奈川県看護協会

施設名 _____

部署 _____

発表者名 _____

確認者名 _____

演題審査基準（神奈川看護学会）

項目	内 容
演題名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を適切に表現しているか
キーワード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容に即しているか
目的 背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ この研究により何を伝えようとしているかが明確か ・ 研究動機、意義が明確か ・ 文献検討が適切か
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象は適切か ・ データ収集方法および手順を示しているか ・ 研究方法は、研究目的・目標達成のため妥当か ・ 分析方法は妥当か
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ データを明確に示しているか ・ 研究目的に沿った結果を示しているか ・ 事実を客観的に示しているか ・ 図表の表現・体裁は適切であるか
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 得られた結果に基づいた解釈をしているか ・ 研究目的に沿った考察で一貫性があるか
結論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本研究で明らかになったことを簡潔に明示しているか
倫理的 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者（または家族）からの研究ならびに発表に関する承諾を得ており、かつ当該施設での倫理委員会等でデータ使用と公表の承認を得ていることを示しているか ・ 上記が困難であった場合、少なくとも当該施設での倫理審査を受け、データ使用と公表の承認を得ていることを示しているか ・ プライバシー等の人権侵害がないか ・ 対象者の不利益が生じないように配慮しているか ・ 対象者の個人が特定できないように匿名性確保に十分な配慮をしているか ・ 引用文献が明示されているか ・ 既存の尺度を使用する場合、出典を明示しているか ・ 利益相反の有無について示しているか
発表意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護実践、看護活動に根ざした問題提起があるか ・ 日常の看護実践の向上や改善に役立つか ・ 看護実践に意味ある事実や知見があるか

(著作権)： 神奈川看護学会集録集に掲載された著作物（電子媒体への変換による利用も含む）の複製権、公衆送信権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとします。著作者自身のこれらの利権を拘束するものではありませんが、再利用する場合は事前に本学会に連絡をしてください。

第 26 回(2024 年度) 神奈川看護学会 開催要項

発 行 2024 年 3 月

発行者 公益社団法人神奈川県看護協会
〒231-0037
横浜市中区富士見町 3-1
TEL 045-263-2901
